

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010100		事業の種類	2		
年度	30	事務事業名	遊歩道整備事業		予算事業名	遊歩道整備事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	竹本 頼高	担当者名	松下 亮太
取組み事項		森林を豊かに育てる			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		遊歩道等改修工事						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	遊歩道を整備し市民が利用するように						

2 事業の概要 Do

実施の概要		清掃、除草委託業務					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	業務委託	箇所	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.248	0.244	98	0.280	115	0.164	59	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	2,217,106	2,254,304	102	2,451,260	109	1,635,984	67	
	事業費	1,603,244	1,603,455	100	2,737,610	171	1,568,000	57	
	合計	3,820,350	3,857,759	101	5,188,870	135	3,203,984	62	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,820,350	3,857,759	101	5,188,870	135	3,203,984	62	
合計	3,820,350	3,857,759	101	5,188,870	135	3,203,984	62		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		業務委託箇所							
指標説明(式)		業務委託箇所							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標は達成している。	4
効率性	コストの節減	草刈回数や施工延長を見直し実施している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

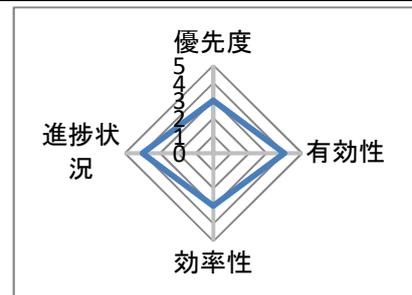
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	老朽化対策が急務となってきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の補修必要力所を精査して、対応する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010200		事業の種類	2	
年度	30	事務事業名	林道維持修繕事業		予算事業名	林道維持修繕事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	竹本 頼高	担当者名	船曳 直志
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	林道を整備し山林所有者及び市民が利用するように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		林道改修、舗装				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	工事件数	件数	2	2	2	2
	草刈	件数	1	1	1	1

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.088	0.084	95	0.084	100	0.048	57	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	1,011,506	1,019,424	101	994,196	98	724,804	73	
	事業費	1,102,680	960,120	87	1,037,880	108	1,040,000	100	
	合計	2,114,186	1,979,544	94	2,032,076	103	1,764,804	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,114,186	1,979,544	94	2,032,076	103	1,764,804	87	
合計	2,114,186	1,979,544	94	2,032,076	103	1,764,804	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託、工事件数							
指標説明(式)		委託、工事件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

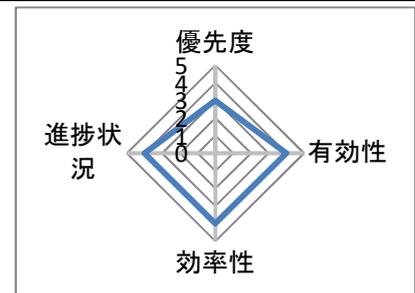
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	林道の安全な利用が来ている。	4
効率性	コストの節減	整備箇所において、経済的な方策を取る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	遊歩道施設の老朽化が顕著である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の簡易補修を実施する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010300		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	森林整備事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	竹本 頼高	担当者名	船曳 直志
取組み事項		森林を豊かに育てる			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		森林整備事業						
根拠法規及び関連法規		県民みどり税関連事業						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	高齢人工林						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢人工林の若返りを図り、保水能力の高い森林を造成する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		針葉樹林と広葉樹林の混交整備 計画調査面積A=30ha					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	計画調査設計	ha		30			
	作業道設置	m			1593		
	広葉樹植栽	ha				6	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.072	0.068	94	0.104	153	0.108	104	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	890,946	895,936	101	1,142,876	128	1,196,104	105	
	事業費			-		-		-	
	合計	890,946	895,936	101	1,142,876	128	1,196,104	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		5,000,000	-	22,740,000	455	17,700,000	78	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	890,946	-4,104,064	-461	-21,597,124	526	-16,503,896	76	
合計	890,946	895,936	101	1,142,876	128	1,196,104	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)		補助件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績		1	-	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

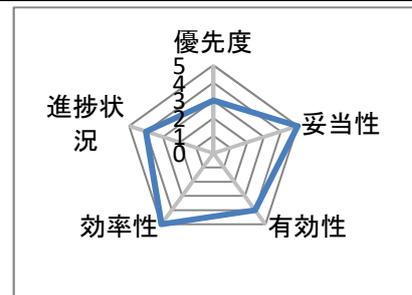
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	実施事業者が森林整備に精通した森林組合となっている。	4
効率性	コストの節減	県民みどり税を100%活用した補助事業	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	森林組合との連携を密にする必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	専門的分野のため、職員がスキルアップする。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	有害鳥獣対策事業		予算事業名	有害鳥獣対策事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	竹本 頼高	担当者名	室井 良太
取組み事項		田園を美しく守る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿、猪などの有害鳥獣対策を行うことで農地の荒廃を防ぎ、田園風景や自然環境を美しく保全していく。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近年、野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	有害鳥獣駆除	回/年	2	2	2	2	
	防護柵の機能向上	km	0	3.6	2.1	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.420	0.444	106	0.476	107	0.440	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,513,126	3,797,904	108	3,908,324	103	3,792,484	97	
	事業費	5,750,420	7,855,571	137	7,370,605	94	8,612,000	117	
	合計	9,263,546	11,653,475	126	11,278,929	97	12,404,484	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		1,696,000	-	1,823,000	107	2,150,000	118	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,263,546	9,957,475	107	9,455,929	95	10,254,484	108	
合計	9,263,546	11,653,475	126	11,278,929	97	12,404,484	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		鳥獣の捕獲頭数(猟期内、猟期外)							
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
頭	目標	810	850	104.9	850	100.0	850	100.0	
	実績	416	478	114.9	423	88.5			
指標名2		農作物の被害金額							
指標説明(式)		出荷農家における被害金額(相生市鳥獣被害防止計画において、被害金額について、現状値をH29、目標年度をR3として軽減目標を設定)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,765,000	3,433,000	91.2	3,101,000	90.3	2,821,000	91.0	
	実績	2,139,000	2,207,000	103.2	2,992,000	135.6			

【効率性】

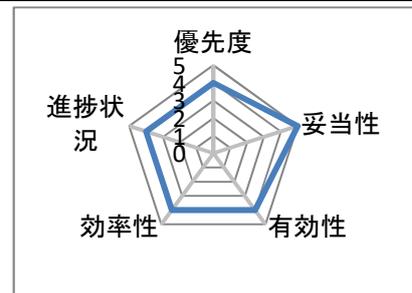
指標名1		被害対策済集落数							
指標説明(式)		被害防護柵の設置完了集落数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	25	100.0	25	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目撃数や被害総額は減少傾向にあり、目標は達成の見込みである。	4
	市民サービス	捕獲頭数の拡大により、農産物の被害金額(出荷農家)は減少傾向である。	
効率性	負担割合の適正化	捕獲活動委託料について、県からの委託料を基に、近隣市町と調整を図りながら適正化を図った。	4
	手段の最適性	猟友会及び農会長等と協力し農業被害の防止に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	農作物被害の観点だけでなく、市民の安全安心確保すべく獣害対策に取り組む必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市街地での野生動物の出没に備えた対応マニュアルの見直しと庁内共有を図る。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020200	事業の種類	1
年度	30	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	予算事業名	環境保全型農業直接支払事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		田園を美しく守る		担当者名	横川 昌紀
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	取り組み農家数	戸	2	2	3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	348,426	371,112	107	369,740	100	336,284	91	
	事業費	2,177,580	2,144,900	98	2,095,460	98	2,580,000	123	
	合計	2,526,006	2,516,012	100	2,465,200	98	2,916,284	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金		1,608,675	-	1,571,595	98	1,935,000	123	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,526,006	907,337	36	893,605	98	981,284	110	
合計	2,526,006	2,516,012	100	2,465,200	98	2,916,284	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家数							
指標説明(式)		環境保全効果の高い営農活動に取り組む農家数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	2	100.0	3	150.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

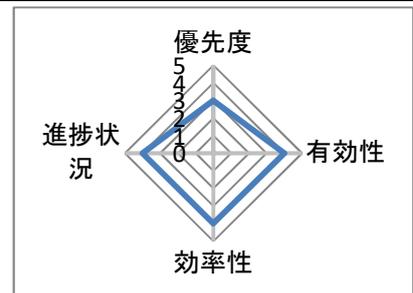
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請条件である兵庫県認証エコファーマーの資格をもっている3名の取組みを進めることができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	有機農業等の取組みの推進により、地域の環境保全の向上がされ、水質汚染の防止が図れた。	
効率性	手段の最適性	有機農業の取組については、労力や採算が悪いなど営農に影響があるため、JA、県と連携してよりよい栽培方法を取り入れる必要があった。	4
	執行体制の効率性	環境保全の農業を推進することは、相生市においてブランド化が期待できるのでJA、県とも連携して普及する必要があった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	事業拡大に向けた地域での連携体制が希薄である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	ブランド化に向け、JA・県・普及センターとの連携強化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301030100		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	自然公園管理事業		予算事業名	自然公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
取組み事項		相生湾に親しみ、活かす			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		自然保護関係法令						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	国立公園等自然公園						
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観や環境の保全に務め、活用を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		自然保護関係法令等の研修及び各関係機関との連絡調整					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	研修会出席	回	0	0	0	0	
	協議会等会費	円	20,000	20000	20000	20000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.196	0.152	78	0.164	108	0.136	83	
	臨時職員	0.080	0.028	35	0.020	71	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,033,846	1,618,000	80	1,644,296	102	1,461,964	89	
	事業費	21,940	20,000	91	22,640	113	23,000	102	
	合計	2,055,786	1,638,000	80	1,666,936	102	1,484,964	89	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,055,786	1,638,000	80	1,666,936	102	1,484,964	89	
合計	2,055,786	1,638,000	80	1,666,936	102	1,484,964	89		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国立公園数							
指標説明(式)		相生市内の国立公園数			※瀬戸内海国立公園				
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

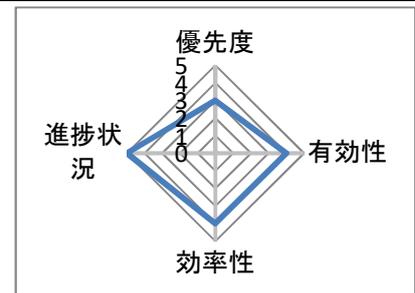
指標名1		会費							
指標説明(式)		年度会費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0	20,000	100.0	
	実績	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	国立公園でのイベントを実施し、相生の自然のすばらしさを体験していただきながら、活用できた。	4
効率性	手段の最適性	関係機関と連携して活動することで、効率よく活動した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	年間2回程度の活動であるが、さらなる活用の方法を検討する必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	多くの住民が参加できるイベントを計画した

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302010200		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	リサイクル推進事業		予算事業名	リサイクル推進事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		廃棄物資源の再資源化を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	資源ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	リサイクルの実践活動による環境意識の向上、及び空き缶の散乱防止等ごみのないきれいなまちづくりを推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デポジット空き缶回収機の運用、資源ごみ集団回収奨励金制度の運用、剪定材再資源化処理業務委託					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	空き缶処理回収機設置台数	台	0	0	0	0	
	空き缶処理回収機回収量	kg	410	0	0	0	
	空き缶回収量(ステーション回収含む)	kg	53,790	54,750	53,730	54,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.116	0.180	155	0.276	153	0.280	101	
	臨時職員		0.016	-	0.056	350	0.060	107	
支出内訳	人件費	1,222,486	1,802,496	147	2,576,588	143	2,707,884	105	
	事業費	3,591,240	2,937,862	82	2,695,394	92	2,581,000	96	
	合計	4,813,726	4,740,358	98	5,271,982	111	5,288,884	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,813,726	4,740,358	98	5,271,982	111	5,288,884	100	
合計	4,813,726	4,740,358	98	5,271,982	111	5,288,884	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空き缶回収機の回収割合							
指標説明(式)		回収機による回収量÷市全体の回収量×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		資源ごみ集団回収の回収割合							
指標説明(式)		集団回収量÷市全体の回収量×100 (H23:347,430/1,128,530) (H24:343,626/1,069,496) (H25:303,885/1,000,205)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	21	25	119.0	24	96.0			

【効率性】

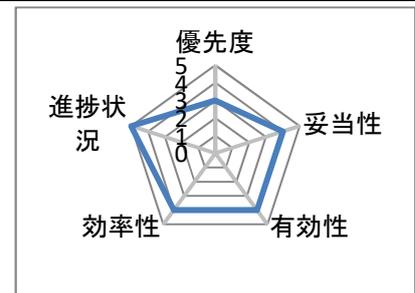
指標名1		空き缶回収機運用収支							
指標説明(式)		缶売却益/維持管理経費 (H23:2,890,989/2,635,582) (H24:2,280,669/2,788,892) (H25:2,035,200/3,666,501)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	空き缶回収機については、老朽化により廃止したが、それに代わる物として、ゲージを置き空き缶をいつでも捨てられるようにした。	4
効率性	負担割合の適正化	空き缶回収機については、老朽化により廃止した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302020100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	太陽光パネル補助事業		予算事業名	太陽光パネル補助事業 優先度		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する			担当課長	宇久勝志		
取組み事項		新エネルギーの利用促進と省エネルギーを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相州市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	地球温暖化防止						
	意図(どのような状態にしたいのか)	新エネルギーの導入を促進し、CO2の排出抑制と資源エネルギーの有効活用を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅用太陽光発電システムを設置する者に対する補助 最大出力1kWあたり3万円×最大4kw 限度額12万円				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	太陽光発電システム設置助成	件	40	38	26	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.168	0.064	38	0.076	119		0	
	臨時職員		0.004	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,614,306	875,600	54	934,724	107	336,284	36	
	事業費	3,904,000	3,751,000	96	2,554,000	68		0	
	合計	5,518,306	4,626,600	84	3,488,724	75	336,284	10	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,518,306	4,626,600	84	3,488,724	75	336,284	10	
合計	5,518,306	4,626,600	84	3,488,724	75	336,284	10		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		太陽光発電システム設置kW							
指標説明(式)		住宅用太陽光発電システムの設置容量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
kW	目標	300	250	83.3	250	100.0	0	0.0	
	実績	195.16	222.12	113.8	157.29	70.8			
指標名2		CO2の削減							
指標説明(式)		太陽光発電システム設置に係るCO2の削減							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
t	目標	100	100	100.0	100	100.0	0	0.0	
	実績	59	67	113.6	47	70.1			

【効率性】

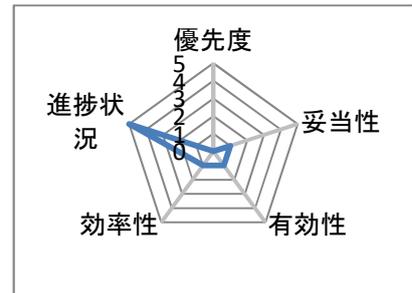
指標名1		助成金額							
指標説明(式)		18年度改定(22年) 補助単価(25,000円(30000円))×kW数(上限100,000円(120000円))							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,000,000	4,000,000	80.0	4,000,000	100.0	0	0.0	
	実績	3,904,000	3,751,000	96.1	2,554,000	68.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	H30年度をもって事業廃止。	1
効率性	負担割合の適正化	事業廃止したことによる削減。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業廃止とした。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	8.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302030100		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	環境施策関連事業		予算事業名	環境施策関連事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
取組み事項		地球環境問題に対する啓発と環境学習を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	特に小学生児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾の自然に触れ、自然の大切さ、ふるさとに愛着を感じる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校高学年児童を対象に、相生湾や播磨灘の身近な海の自然環境を守り育てる活動として里海づくりを行い、故郷の海について体験型の学習を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	環境日記の参加人数	人	0	0	0	0	
	里海体験学習参加人数	人(延べ)	1,421	1,086	860	1,000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.544	0.528	97	0.436	83	0.440	101	
	臨時職員		0.040	-	0.052	130	0.052	100	
支出内訳	人件費	4,447,466	4,551,576	102	3,754,952	82	3,941,724	105	
	事業費	1,019,200	1,050,620	103	1,079,804	103	977,000	90	
	合計	5,466,666	5,602,196	102	4,834,756	86	4,918,724	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,466,666	5,602,196	102	4,834,756	86	4,918,724	102	
合計	5,466,666	5,602,196	102	4,834,756	86	4,918,724	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境日記参加人数							
指標説明(式)		環境日記配付者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		里海体験学習参加人数							
指標説明(式)		里海体験学習参加人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	600	100.0	800	133.3	1,000	125.0	
	実績	1,421	1,086	76.4	860	79.2			

【効率性】

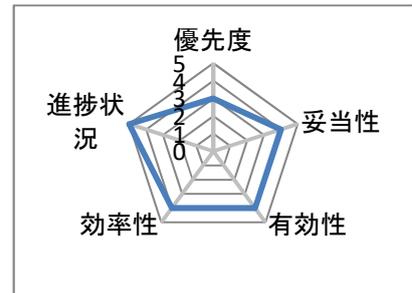
指標名1		参加者割合							
指標説明(式)		環境日記提出者数 ÷ 環境日記配付者数 × 100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		参加者割合							
指標説明(式)		事業費(委託料) ÷ 参加者数 (参加者1人当たりのコスト)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,300	1,300	100.0	1,000	76.9	900	90.0	
	実績	704	920	130.7	1,162	126.3			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	専門家の協力により、より質の高い活動となっている。また、新規事業についても検討したい。	4
効率性	手段の最適性	年間スケジュールを決め、参加者もクラブ員として固定することで効率よく展開出来ている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	天候に左右されることが多くあったので、雨天時にもできるような事業を考えたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	屋内事業の新設。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010100		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	ごみ分別収集業務委託事業		予算事業名	ごみ分別収集業務委託事業 優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自治会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみステーションや地域の拠点等において、効率よく収集業務が行えるよう、また、環境美化を維持するため、自治会へごみ分別業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	地区数	地区	130	0	0	
	世帯数	世帯	13,311	0	0	
	拠点回収場所数	ヶ所	40	0	0	
	ステーション数	ヶ所	876	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.120		0	0.016	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,252,626	371,112	30	488,684	132	336,284	69	
	事業費	1,007,750		0	994,784	-		0	
	合計	2,260,376	371,112	16	1,483,468	400	336,284	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,260,376	371,112	16	1,483,468	400	336,284	23	
合計	2,260,376	371,112	16	1,483,468	400	336,284	23		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託料							
指標説明(式)		地区割 2,000円/地区 世帯割 50円/世帯							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,010,000	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	1,007,750	0	0.0	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

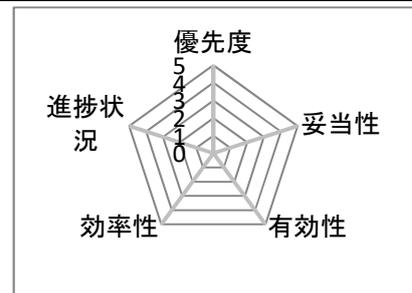
指標名1		1地区当たりの金額							
指標説明(式)		委託料÷地区数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7,752	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	7,752	0	0.0	0	-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業廃止した。	
効率性	コストの節減	事業廃止したことによる削減。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業廃止とした。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010200	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業	予算事業名	ごみ箱等設置補助事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	森川拓平
根拠法規及び関連法規		ごみ箱等設置費助成金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	自治会等地域団体			
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ箱等の設置に対して、設置事業費の3分の1(上限7万円)を助成する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	設置助成件数	件	3	3	7	5

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.056	0.064	114	0.028	44	0.028	100	
	臨時職員	0.040	0.028	70	0.008	29	0.008	100	
支出内訳	人件費	874,666	938,816	107	600,044	64	579,184	97	
	事業費	148,000	95,000	64	292,000	307	350,000	120	
	合計	1,022,666	1,033,816	101	892,044	86	929,184	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,022,666	1,033,816	101	892,044	86	929,184	104	
合計	1,022,666	1,033,816	101	892,044	86	929,184	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ箱設置補助金							
指標説明(式)		ごみ箱設置事業費×1/3=助成費(上限70,000円)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	350,000	350,000	100.0	350,000	100.0	350,000	100.0	
	実績	148,000	95,000	64.2	214,000	225.3			
指標名2		ごみネット設置補助金							
指標説明(式)		ごみネット購入費×1/3							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	8000	-			

【効率性】

指標名1		ごみ箱設置費用(平均)							
指標説明(式)		事業費 × 3 ÷ 助成件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	210,000	210,000	100.0	210,000	100.0	210,000	100.0	
	実績	148,000	95,000	64.2	292,000	307.4			

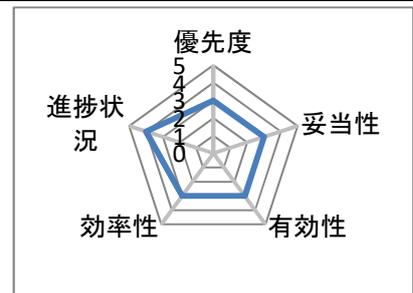
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	3
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合を見直したことにより、経費の節減となった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	ニーズに合っているのか検証する必要あり



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続きニーズに合っているのか検証していく

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010300		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	近畿自然歩道事業		予算事業名	近畿自然歩道事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		兵庫県立自然公園条例等の規定						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	近畿自然歩道						
	意図(どのような状態にしたいのか)	歩道の適正な維持管理に努め、通行者が快適に利用し自然公園を満喫する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近畿自然歩道の除草、清掃等維持管理を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	管理委託料	円	352,500	352,500	352,500	309,000
	県補助金(トイレ管理費)	円	206,000	206,000	206,000	206,000

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.104	0.112	108	0.092	82	0.100	109	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,132,066	1,235,528	109	1,053,668	85	1,121,784	106	
	事業費	352,500	352,500	100	352,500	100	309,000	88	
	合計	1,484,566	1,588,028	107	1,406,168	89	1,430,784	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,484,566	1,588,028	107	1,406,168	89	1,430,784	102	
合計	1,484,566	1,588,028	107	1,406,168	89	1,430,784	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		管理委託							
指標説明(式)		除草面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
m ²	目標	3,580	3,580	100.0	3,580	100.0	3,090	86.3	
	実績	3,580	3,580	100.0	3,580	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

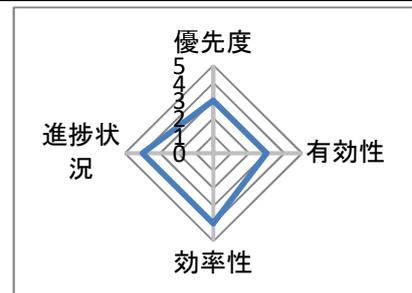
指標名1		除草1㎡に係るコスト							
指標説明(式)		委託料÷除草面積							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0	42.6	100.0	
	実績	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	良好な維持管理・保全に努め、利用者の便利、普及に努めた。	3
効率性	手段の最適性	各自治会への委託業務であり、地元管理で手段としては最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	大雨災害等により、歩道の劣化が激しく、一部、危険な個所がある。歩道の存続について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	県と危険な個所がある歩道の存続について協議を行い、一部休止とした。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010400	事業の種類	9
年度	30	事務事業名	清掃総務費事務経費	予算事業名	清掃総務費事務経費 優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	
取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	担当者名 森川拓平 主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	清掃業務			
	意図(どのような状態にしたいのか)	廃棄物処理等清掃業務の円滑な推進			

2 事業の概要 Do

実施の概要		県等都市清掃事務協議会による情報の交換を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	県都市清掃会議への出席	回	4	4	4	4
	保衛連への出席	回	-	-	-	-

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.316	0.592	187	0.388	66	0.428	110	
	臨時職員	0.140	0.216	154	0.172	80	0.172	100	
支出内訳	人件費	3,094,466	5,509,112	178	3,730,400	68	4,191,864	112	
	事業費	951,727	689,581	72	678,213	98	933,000	138	
	合計	4,046,193	6,198,693	153	4,408,613	71	5,124,864	116	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,046,193	6,198,693	153	4,408,613	71	5,124,864	116	
合計	4,046,193	6,198,693	153	4,408,613	71	5,124,864	116		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県都市清掃会議への出席回数							
指標説明(式)		県都市清掃会議への出席回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		保衛連への出席回数							
指標説明(式)		保衛連への出席回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

【効率性】

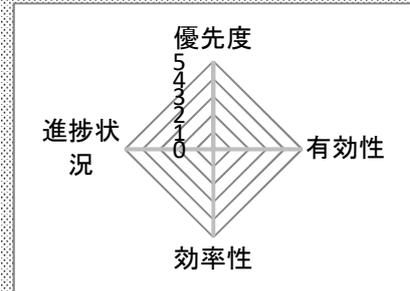
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	県都市清掃事務協議会については、内容も充実しており、担当者同士の交流も図れ、意義のある会議となっている。	
効率性	コストの節減	保健衛生組織連合会においては、内容を含め参加について検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010600		事業の種類	9	
年度	30	事務事業名	塵芥処理費事務経費		予算事業名	塵芥処理費事務経費 優先度	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	坪田泰典
取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載			主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	ごみを排出する市民					
	誰(何)を対象として	ごみを排出する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	指定する分別により指定された日にごみを排出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみの収集日をお知らせする市民カレンダーを作成する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	市民カレンダーの発行	部	15,150	14,900	14,900	15,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.424	0.536	126	0.484	90	0.464	96	
	臨時職員	0.030	0.076	253	0.036	47	0.036	100	
支出内訳	人件費	3,621,476	4,708,144	130	4,067,480	86	4,084,324	100	
	事業費	1,026,013	2,257,714	220	1,574,328	70	2,002,000	127	
	合計	4,647,489	6,965,858	150	5,641,808	81	6,086,324	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,647,489	6,965,858	150	5,641,808	81	6,086,324	108	
合計	4,647,489	6,965,858	150	5,641,808	81	6,086,324	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民カレンダーの発行							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行部数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
部	目標	15,150	15,150	100.0	15,000	99.0	15,000	100.0	
	実績	15,150	14,900	98.3	14,900	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

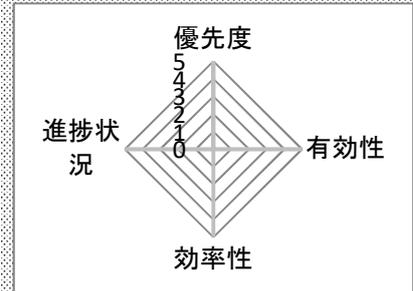
指標名1		市民カレンダーの発行費用							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行費用							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	808,000	1,173,600	145.2	1,126,937	96.0	1,103,375	97.9	
	実績	539,784	984,831	182.4	984,830	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内を4地区に分けた収集に合せたカレンダーを作成し、配付した。	
	コストの節減	紙面の内容を工夫することで、他課の補助を有効に活用し、コスト削減に努めた。	
効率性	手段の最適性	日々確認するカレンダーを基本とし、また、紙面として配付することにより、ごみの排出日を確認することができ、誤った排出を防ぐための最善の方法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010700		事業の種類	4				
年度	30	事務事業名	塵芥収集事業		予算事業名	塵芥収集事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		廃棄物収集運搬・処理事業								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	家庭系塵芥								
	意図(どのような状態にしたいのか)	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化が図れ、ごみ減量の実践と環境意識を高め、環境保全・環境美化・住みよいまちとなる。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図るとともに、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。また、ペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイ等の拠点回収を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	可燃ごみ収集量	t	4,555	4,453	4,429	4500
	資源ごみ収集量	t	989	909	893	900
	粗大ごみ収集量	t	288	307	241	250
	不燃ごみ収集量	t				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	12.560	14.336	114	13.004	91	13.044	100	
	臨時職員	7.030	5.380	77	6.888	128	6.748	98	
支出内訳	人件費	113,315,236	125,187,280	110	116,114,348	93	122,163,664	105	
	事業費	46,741,814	47,395,006	101	45,628,544	96	48,806,000	107	
	合計	160,057,050	172,582,286	108	161,742,892	94	170,969,664	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	160,057,050	172,582,286	108	161,742,892	94	170,969,664	106	
合計	160,057,050	172,582,286	108	161,742,892	94	170,969,664	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別収集							
指標説明(式)		自治会等が行う地区清掃によるごみの収集(件数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	110	110.0	120	109.1	
	実績	92	119	129.3	124	104.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

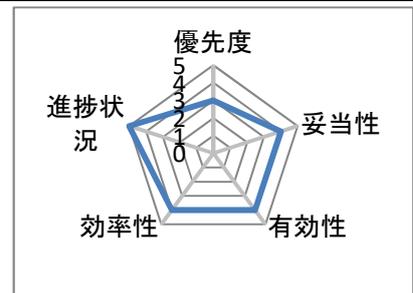
指標名1		人口1人当たりの経費							
指標説明(式)		収集経費÷人口							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,500	4,500	100.0	4,500	100.0	4,500	100.0	
	実績	3,969	4,176	105.2	3,936	94.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションに番号を付けることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図れた。	4
効率性	コストの節減	職員定数を確保し、収集業務の一部民間委託を実施している。収集コースの見直しを行い、効率化を図りコスト削減に努めた。(収集車の燃料費、消耗品費等の経費削減)	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	粗大ごみに、可燃ごみ、資源ごみを混入して排出されている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	警告シールを貼る、広報を行うなど、適正な排出をしていただくよう指導を行っている。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010800	事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	美化センター管理運営事業	予算事業名	美化センター管理運営事業 優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		美化センター焼却炉等更新工事 相生市美化センター更新事業		廃棄物焼却処理事業			
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	美化センター施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ焼却施設の維持管理に努め、分別収集によるごみ減量、資源化の促進を図ることにより、安全で安定したゴミ処理施設とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ焼却施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	焼却稼働日数	日	248	246	245	248
	搬入量	t	9,947	10,126	9,979	10,000
	焼却量	t	8,279	8,356	8,342	8,500

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	1.932	1.868	97	1.416	76	1.452	103	
	臨時職員	0.160	0.564	353	0.484	86	0.764	158	
支出内訳	人件費	15,323,166	16,273,912	106	12,236,480	75	13,934,424	114	
	事業費	283,257,306	218,085,413	77	209,051,678	96	227,014,000	109	
	合計	298,580,472	234,359,325	78	221,288,158	94	240,948,424	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	298,580,472	234,359,325	78	221,288,158	94	240,948,424	109	
合計	298,580,472	234,359,325	78	221,288,158	94	240,948,424	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民1人が1日に出すごみ量							
指標説明(式)		家庭ごみ量(収集)÷365日÷人口							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
g	目標	610	600	98.4	600	100.0	600	100.0	
	実績	589	581	98.6	517	89.0			
指標名2		事業系ごみ							
指標説明(式)		排出ごみ量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	3,100	3,100	100.0	3,100	100.0	3,100	100.0	
	実績	3,107	3,188	102.6	3,105	97.4			

【効率性】

指標名1		家庭系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		家庭系ごみ処理費÷家庭系総ごみ量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	64.0	64.0	100.0	64.0	100.0	64.0	100.0	
	実績	64.2	64.5	100.5	64.3	99.7			

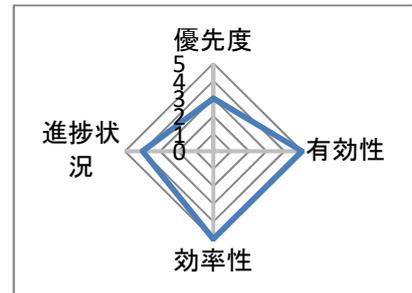
指標名2		事業系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		事業系ごみ処理費÷事業系総ごみ量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	43.0	43.0	100.0	43.0	100.0	43.0	100.0	
	実績	43.2	44.0	101.9	43.5	98.9			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民生活に欠かせない事業として貢献している。	5
効率性	コストの節減	施設の維持管理等、収集計画、処理計画をたて、適正な管理運営を図り経費削減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	焼却施設の更新(広域処理等)



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	焼却処理施設の更新について、詳細な調査、検討を行う。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010900	事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	最終処分場管理運営事業	予算事業名	最終処分場管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	最終処分場					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみの減量・減容化に努め、最終処分場の延命を図ると共に長寿命化に対応する適正管理に努める					

2 事業の概要 Do

実施の概要		不燃ごみの埋立てのための施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	埋立処理場	t	844	883	765	850

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.868	0.404	47	0.360	89	0.380	106	
	臨時職員	0.040	0.096	240	0.156	163	0.188	121	
支出内訳	人件費	6,993,086	3,742,048	54	3,477,944	93	3,860,744	111	
	事業費	33,264,263	2,361,814	7	8,324,781	352	3,643,000	44	
	合計	40,257,349	6,103,862	15	11,802,725	193	7,503,744	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,257,349	6,103,862	15	11,802,725	193	7,503,744	64	
合計	40,257,349	6,103,862	15	11,802,725	193	7,503,744	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		最終処分場残容量率							
指標説明(式)		1-埋立量÷全体容量(86,000m ³)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	37	36	97.3	35	97.2	34	97.1	
	実績	37	36	97.3	35	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

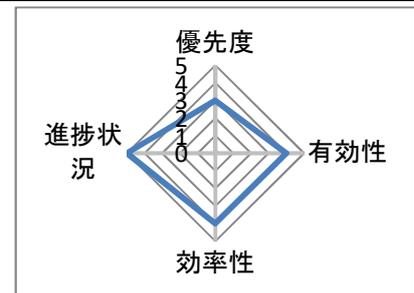
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		維持管理経費(財源内訳)÷埋立量(t)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	60,439	7,000	11.6	13,646	194.9	8,828	64.7	
	実績	60,439	6,913	11.4	15,428	223.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民の排出する不燃ごみの埋立処理を安定かつ適正に処理していることで埋立処理の減容化となり、最終処分場の延命化が図れた。	4
効率性	コストの節減	分別の徹底、施設の日々点検等によりコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	付帯施設の老朽化による設備更新が必要である



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	予算措置し、改善することとしている

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011000		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	粗大ごみ処理事業		予算事業名	粗大ごみ処理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	粗大ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	粗大ごみと資源ごみを適正に分別し、効率的な収集と適正処理に努める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		粗大ごみの中間処理を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	粗大ごみ処理量	t	299	301	321	320
	拠点回収量	t	184	176	194	190

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.452	0.460	102	0.632	137	0.648	103	
	臨時職員		0.104	-	0.340	327	0.356	105	
支出内訳	人件費	3,754,246	4,195,328	112	6,009,488	143	6,448,044	107	
	事業費	12,306,421	12,909,472	105	13,215,681	102	17,718,000	134	
	合計	16,060,667	17,104,800	107	19,225,169	112	24,166,044	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,060,667	17,104,800	107	19,225,169	112	24,166,044	126	
合計	16,060,667	17,104,800	107	19,225,169	112	24,166,044	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中間処理経費							
指標説明(式)		中間処理委託料							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13,432,000	12,706,200	94.6	12,706,200	100.0	16,814,360	132.3	
	実績	11,870,814	11,942,106	100.6	12,207,156	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

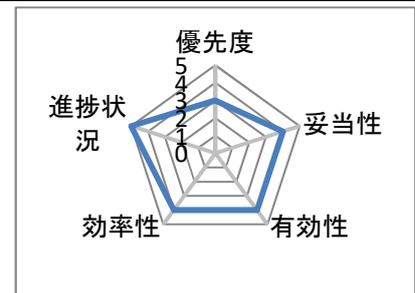
指標名1		粗大ごみ1kgあたりの処理料							
指標説明(式)		委託料÷処理量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40.0	40.0	100.0	40.0	100.0	40.0	100.0	
	実績	39.7	39.7	100.0	38.0	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	粗大ごみの中に資源ごみが混ざっているなど、さらなる分別の徹底が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	住民への分別の徹底、持ち帰った粗大ごみについて、美化センター内で職員が手選別を行い、処理費の削減に取り組んでいる。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011100		事業の種類	4				
年度	30	事務事業名	ごみ有料化事業		予算事業名	ごみ有料化事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則並びに相生市指定ごみ袋等取扱要綱								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	家庭系ごみ								
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ袋の有料化による、ごみ量の削減とリサイクルの推進								

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定ごみ袋・シール券の作成及び販売店への手数料の支払い事業を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	ごみ袋出荷枚数(大)	枚	277,200	280,800	278,400	
	ごみ袋出荷枚数(中)	枚	495,600	524,300	495,600	
	ごみ袋出荷枚数(小)	枚	266,000	270,000	264,000	
	シール券出荷枚数	枚	40,990	43,130	45,180	

3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104		
	参事以下職員	0.412	0.408	99	0.212	52	0.172	81		
	臨時職員	0.320	0.184	58	0.092	50	0.092	100		
支出内訳	人件費	4,287,086	4,004,712	93	2,200,496	55	1,951,384	89		
	事業費	22,298,364	21,854,006	98	21,628,951	99	23,671,000	109		
	合計	26,585,450	25,858,718	97	23,829,447	92	25,622,384	108		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	26,585,450	25,858,718	97	23,829,447	92	25,622,384	108		
合計	26,585,450	25,858,718	97	23,829,447	92	25,622,384	108			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ袋購入経費								
指標説明(式)		ごみ袋作成費、配達・保管等維持管理料及び集計事務含む								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
円	目標	20,700,000	19,057,572	92.1	20,487,276	107.5	19,920,708	97.2		
	実績	19,028,260	18,427,046	96.8	18,269,949	99.1				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

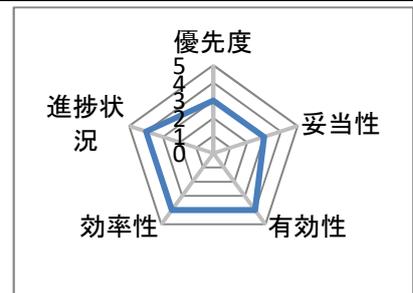
指標名1		ごみ袋1枚あたりの経費(大・中・小平均)							
指標説明(式)		ごみ袋購入代金÷購入枚数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16.8	16.0	95.2	16.7	104.4	16.7	100.0	
	実績	15.5	16.6	107.1	16.6	100.0			
指標名2		ごみ処理費負担率(売上高÷ごみ収集処理経費)							
指標説明(式)		収益(売上高)÷家庭系(収集・中間・処理)経費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	9.5	9.5	100.0	9.5	100.0	9.0	94.7	
	実績	8.9	8.9	100.0	8.1	91.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内60か所以上の店舗で、ごみ袋等の販売を行い、市民が購入しやすいようサービスを行っている。	4
効率性	コストの節減	ごみ袋の適正管理に努め、無駄な在庫がないようにし、コスト削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各店舗より、市が電話で注文を受け、伝票に記載し、配達店へ連絡し、配達、という流れであるが、事務が煩雑である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	注文受付業務について、改善できないか検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011200		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	予算事業名	リサイクルセンター管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		リサイクルセンター・最終処分場長寿命化事業					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	資源ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正なごみの分別により、リサイクルを推進する。また、リサイクルセンターの長寿命化に対応する計画的な修繕を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみの中間処理を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	資源ごみ搬入量	t	1,236	1162	1212	1200
	リサイクル量	t	1,359	1321	1277	1280

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	2.420	1.444	60	1.428	99	1.428	100	
	臨時職員	0.040	2.140	5.350	2.380	111	3.212	135	
支出内訳	人件費	18,687,406	17,152,664	92	17,575,712	102	20,771,664	118	
	事業費	9,397,389	30,704,613	327	12,603,180	41	18,425,000	146	
	合計	28,084,795	47,857,277	170	30,178,892	63	39,196,664	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	28,084,795	47,857,277	170	30,178,892	63	39,196,664	130	
合計	28,084,795	47,857,277	170	30,178,892	63	39,196,664	130		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		リサイクル率							
指標説明(式)		資源化量÷総処理量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	14	13	92.9	13	100.0			
指標名2		量販店・公民館等による拠点回収							
指標説明(式)		回収量							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
t	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	184	176	95.7	194	110.2			

【効率性】

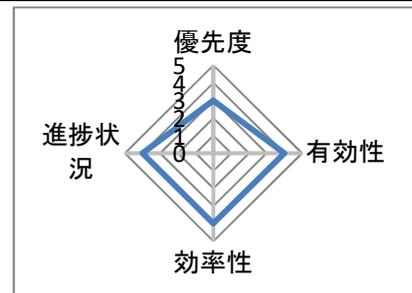
指標名1		資源ごみ1kgに係る処理経費							
指標説明(式)		処理費÷資源ごみ搬入量(t)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19.5	41.2	211.3	24.9	60.4			
指標名2		新聞売却							
指標説明(式)		新聞売却単価(税抜き)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17.0	17.0	100.0	23	135.3	18	78.3	
	実績	17.0	23	135.3	18	78.3			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資源ごみの回収は月1回のため、量販店等による資源ごみ回収拠点の整備を図り、また、市役所にも資源ごみ回収拠点を設置し、市民サービスの向上に努めている。	4
効率性	コストの節減	事業系ごみ分別の徹底を図りコスト削減に努める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画的に進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011300		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	環境クリーン事業		予算事業名	環境クリーン事業 優先度		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相州市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	投棄ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、河川、公園等に不法投棄された廃棄物の回収処理により、ごみのないきれいなまちづくりに努める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		不法投棄の対策として、また、環境美化への啓発として、不法投棄パトロールの実施及び不法投棄物の回収業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	不法投棄による廃棄物処理	kg	7,000	6,380	6,047	6,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.300	0.208	69	0.224	108	0.236	105	
	臨時職員			-	0.008	-	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,608,926	1,976,456	76	2,057,108	104	2,213,024	108	
	事業費	2,799,360	2,842,128	102	2,809,728	99	2,943,000	105	
	合計	5,408,286	4,818,584	89	4,866,836	101	5,156,024	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,408,286	4,818,584	89	4,866,836	101	5,156,024	106	
合計	5,408,286	4,818,584	89	4,866,836	101	5,156,024	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境クリーン委託経費							
指標説明(式)		環境クリーン委託経費							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,799,360	2,842,128	101.5	2,809,728	98.9	2,943,000	104.7	
	実績	2,799,360	2,842,128	101.5	2,809,728	98.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

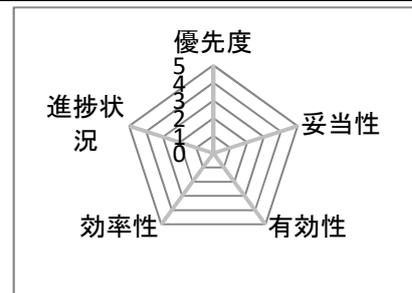
指標名1		処理量1kgあたりの経費							
指標説明(式)		環境クリーン業務委託料÷処理量(不法投棄処理分)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	460	460	100.0	432	93.9	490	113.4	
	実績	400	445	111.3	464	104.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市内の環境美化が図られている。	
効率性	手段の最適性	不法投棄が増加する中、市内パトロールにより市内の環境美化の啓発と処理について最適な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通り進捗している	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	不法投棄処理により街の環境美化は図られている。パトロールルートの見直し等を行いコストの削減をしたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	ルートの見直し、業務の見直しを行いコストの削減を図る。

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011400	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	ガラス工房運営事業	予算事業名	ガラス工房運営事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	担当者名
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	リサイクル推進の啓蒙			
	意図(どのような状態にしたいのか)	循環型社会づくりの環境学習の一環として、リサイクルの現場に触れ、廃ガラスから作品を作り上げる工程を体験することで、再生の喜びと環境への意識を深めることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生すりばち山ガラス工房として各小学校へガラス工作を出前で行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	ガラス工房教室開催回数	回	4	1		
	ガラス工房教室参加人数	人	112	62		
	ガラス工房イベント参加回数	回	1	1		
	ガラス工房イベント参加人数	人	112	62		

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.088	0.036	41	0.028	78		0	
	臨時職員	0.100	0.040	40	0.020	50		0	
支出内訳	人件費	1,272,206	754,320	59	633,272	84	336,284	53	
	事業費	27,502	200,000	727	55,276	28		0	
	合計	1,299,708	954,320	73	688,548	72	336,284	49	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,299,708	954,320	73	688,548	72	336,284	49	
合計	1,299,708	954,320	73	688,548	72	336,284	49		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験学習							
指標説明(式)		教室参加人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	200	440	220.0	400	90.9		0.0	
	実績	224	62	27.7		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

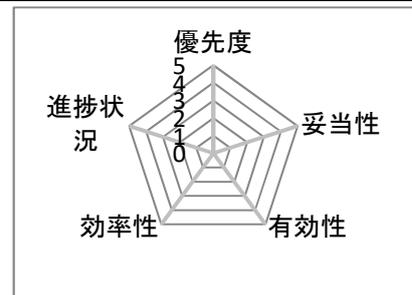
指標名1		体験学習開催日数							
指標説明(式)		教室開催日数+イベント参加回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	7	8	114.3	8	100.0		0.0	
	実績	5	2	40.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	幼稚園へのリサイクル出前講座とすることで、リサイクルの必要性について認識を高めることが出来た。	
効率性	コストの節減	委託事業を廃止し、さらなるコスト削減を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業縮小に向け、計画通り縮小している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303020100		事業の種類	1			
年度	30	事務事業名	し尿収集事業		予算事業名	し尿収集事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	坪田泰典
取組み事項		し尿の適正な処理をする			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	衛生環境							
	意図(どのような状態にしたいのか)	安定したし尿収集により地域の衛生環境の保全を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		し尿収集事業					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	し尿収集量	kl	513	364	324	342	
	取扱店	件	4	4	4	4	
	売りさばき手数料	%	3	3	8	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計						事業費単位:円
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	2.180	2.060	94	2.156	105	2.104	98	
	臨時職員		0.048	-	0.072	150	0.072	100	
支出内訳	人件費	16,774,726	16,396,624	98	16,596,812	101	17,069,844	103	
	事業費	1,211,395	1,006,092	83	712,183	71	1,219,000	171	
	合計	17,986,121	17,402,716	97	17,308,995	99	18,288,844	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,986,121	17,402,716	97	17,308,995	99	18,288,844	106	
合計	17,986,121	17,402,716	97	17,308,995	99	18,288,844	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		全世帯に対するし尿収集世帯の割合							
指標説明(式)		収集世帯数 ÷ 全世帯数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.4	2.0	83.3	1.5	75.0	1.5	100.0	
	実績	1.7	1.6	94.1	1.5	93.8			
指標名2		販売店によるし尿券の取扱い							
指標説明(式)		取扱枚数(単位:1000円券、100L)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	480	50	10.4	200	400.0	200	100.0	
	実績	50	194	388.0	208	107.2			

【効率性】

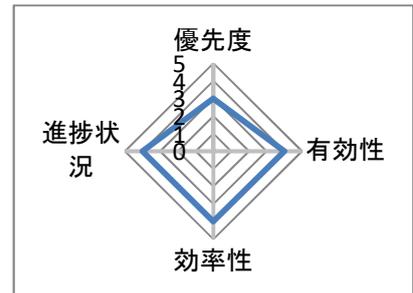
指標名1		1戸当たりの収集経費							
指標説明(式)		経費÷収集戸数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,000	40,000	100.0	85,000	212.5	80,000	94.1	
	実績	57,172	79,828	139.6	83,216	104.2			
指標名2		経費と収益の割合							
指標説明(式)		し尿処理経費÷し尿に係る収益							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	150	150	100.0	300	200.0	300	100.0	
	実績	170	292	171.8	314	107.5			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	し尿収集は、水洗化を図りずらい世帯の受け皿であり、市民生活に重要な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	水洗化の普及に伴い収集量は減少しているが、効率性を考慮し、収集計画を立てコスト削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	収集経路などを見直し、さらなる効率性を考慮する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	引き続き、効率性を考慮し、コスト削減に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040100		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業		予算事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大気汚染					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自動車排ガスの削減等大気環境の改善をはかり住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		大気環境監視局測定管理委託				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	大気環境監視委託	円	1,620,000	1,620,000	1,620,000	1,760,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.092	92	0.092	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,101,926	1,142,912	104	1,053,668	92	1,058,944	101	
	事業費	2,039,890	2,050,919	101	2,037,167	99	2,227,000	109	
	合計	3,141,816	3,193,831	102	3,090,835	97	3,285,944	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,141,816	3,193,831	102	3,090,835	97	3,285,944	106	
合計	3,141,816	3,193,831	102	3,090,835	97	3,285,944	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ハイブリッド車、電気自動車の数							
指標説明(式)		公用車台数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
台	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

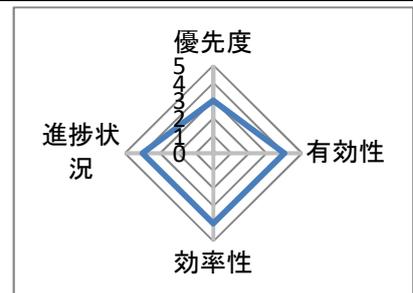
指標名1		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標説明(式)		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0	86	86.0	
	実績	84	84	100.0	95	113.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	環境影響調査等実施し、生活環境の改善に重要な貢献をしている。	4
効率性	負担割合の適正化	施設、機器の運営費は県からの委託金で賄えている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	設備等の維持管理費等については県からの委託料で賄なえているが、年々維持管理費等が高騰してきているので、今後県からの委託料の増額が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	県へ実情を伝え、協議を行っている。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040200		事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	水質汚濁調査運営事業		予算事業名	水質汚濁調査運営事業 優先度		3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	大角潤矢
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	水質汚染						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の河川及び相生湾等の水質測定を実施し、環境保全に努め住みよいまちとする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内主要河川7地点及び相生湾の水質測定を実施。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	水質分析委託	円	1,432,944	1,611,144	1,745,280	1,926,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.124	78	0.156	126	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,554,026	1,605,992	103	1,291,556	80	1,561,664	121	
	事業費	1,447,584	1,631,184	113	2,174,180	133	1,945,000	89	
	合計	3,001,610	3,237,176	108	3,465,736	107	3,506,664	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,001,610	3,237,176	108	3,465,736	107	3,506,664	101	
合計	3,001,610	3,237,176	108	3,465,736	107	3,506,664	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質測定							
指標説明(式)		水質測定地点(河川、相生湾)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
地点	目標	10	10	100.0	10	100.0	9	90.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		水質汚濁							
指標説明(式)		苦情件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	0		-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

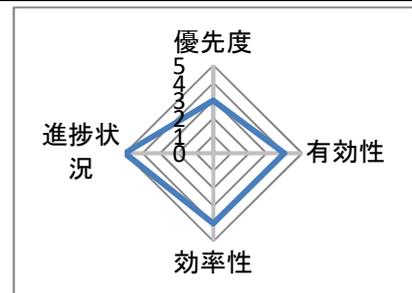
指標名1		水質分析委託料							
指標説明(式)		水質分析委託料							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1,500,000	1,500,000	100.0	1,600,000	106.7	1,926,000	120.4	
	実績	1,432,944	1,611,144	112.4	1,745,280	108.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	定点で季節ごとに水質環境の変化を常時監視することにより、環境の保全活動が行えている。	4
効率性	コストの節減	委託業者と水質測定日等を細かく調整し、無駄のない対応をした。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	長年、データに変化がない地点もあるので、測定箇所や地点の見直しを行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	地点数、測定箇所の見直しを行い、コスト削減に努めた

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040300		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	公害行政推進事業		予算事業名	公害行政推進事業 優先度 3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	大角潤矢
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定			
実施計画事業名		PCB廃棄物処理事業						
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	公害行政						
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境保全活動の推進を図ることにより、市民が快適に生活できるようにする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		環境保全審議会の運営、騒音振動監視事業、公害環境指導				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	環境監視員活動	件	42	71	68	70
	騒音・振動測定委託	円	1,404,000	1,306,800	1,725,840	1,308,000
	特定建設作業届	件	92	84	105	100

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.248	0.332	134	0.316	95	0.356	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,217,106	2,933,488	132	2,718,884	93	3,132,664	115	
	事業費	2,117,120	2,107,268	100	3,001,612	142	5,683,000	189	
	合計	4,334,226	5,040,756	116	5,720,496	113	8,815,664	154	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,334,226	5,040,756	116	5,720,496	113	8,815,664	154	
合計	4,334,226	5,040,756	116	5,720,496	113	8,815,664	154		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境保全事業							
指標説明(式)		苦情処理件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	80	70	87.5	70	100.0	70	100.0	
	実績	50	92	184.0	68	73.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

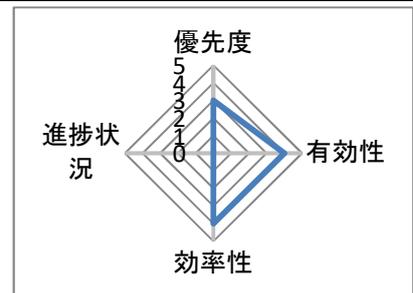
指標名1		環境監視員1人あたりの活動報告件数							
指標説明(式)		活動報告件数÷環境監視員数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	5	7	140.0	8	114.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公害苦情処理に対してもスピーディーな対応により処理している。	4
効率性	手段の最適性	公害に関する苦情については、ほぼ、住民から直接寄せられる。環境監視員の在り方について今後検討が必要である。	4
	コストの節減	騒音測定業務について、長年同一個所で定点観測を行っているが、今後道路事情が変わらず、過去から騒音データも変わっていない個所について、見直しをかける。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	環境監視員制度の在り方について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	道路騒音について、測定箇所数を見直し、コスト削減に努めた。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303050100		事業の種類	1					
年度	30	事務事業名	畜犬登録事業		予算事業名	畜犬登録事業		優先度	3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課					
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	坪田泰典		
取組み事項		動物愛護を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名											
根拠法規及び関連法規		狂犬病予防法、相生市民の住みよい環境をまもる条例									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民									
	誰(何)を対象として	畜犬									
	意図(どのような状態にしたいのか)	飼い犬の新規登録及び狂犬病予防注射の受診により犬のしつけ、マナー等の意識向上及び生活環境の健全化を図り住みよいまちとする。									

2 事業の概要 Do

実施の概要		犬の登録、狂犬病予防注射の実施				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	登録件数	件	1,542	1,517	1,443	1,400
	新規登録	件	56	98	93	100
	狂犬病予防注射済	件	1,214	914	922	900
	集合注射日数	日	4	4	4	4

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.144	0.080	56	0.124	155	0.116	94	
	臨時職員	0.320	0.216	68	0.176	81	0.172	98	
支出内訳	人件費	2,267,706	1,557,496	69	1,778,900	114	1,741,104	98	
	事業費	346,326	325,625	94	342,780	105	359,000	105	
	合計	2,614,032	1,883,121	72	2,121,680	113	2,100,104	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,614,032	1,883,121	72	2,121,680	113	2,100,104	99	
合計	2,614,032	1,883,121	72	2,121,680	113	2,100,104	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集合注射日程								
指標説明(式)		集合注射実施日								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
件	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0		
	実績	4	4	100.0	4	100.0				
指標名2		集合注射受診の割合								
指標説明(式)		集合注射受診件数÷注射済件数×100								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考	
件	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0		
	実績	24	26	108.3	26	100.0				

【効率性】

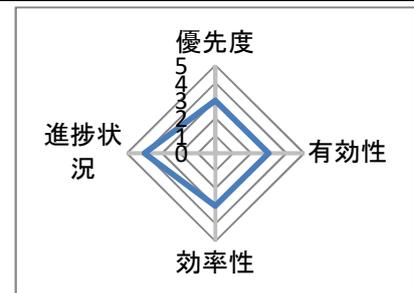
指標名1		注射受診割合							
指標説明(式)		注射受診件数÷登録件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
日	目標	60	60	100.0	65	108.3	65	100.0	
	実績	77	60.2	78.2	63.8	106.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公衆衛生上、犬の登録、狂犬病予防注射は必要である。	3
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、年々受診件数が減ってきている。実施のあり方を検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、実施方法等について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	獣医師会と今後の在り方について協議を行う。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010100		事業の種類	4		
年度	30	事務事業名	葬儀事業		予算事業名	葬儀事業		優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典	
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	自宅葬儀						
	意図(どのような状態にしたいのか)	自宅等での葬儀において、利用者の利便性を高め、円滑な葬儀の運営を支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀に使用する消耗品の購入、保管及び祭壇等の運搬・撤収等を委託する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	棺の使用	本	104	126	97	100
	祭壇の利用	件	1	6	3	5
	葬儀祭壇等業務委託	円	334,159	347,943	349,745	558,952
	運搬件数	件				

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.132	0.088	67	0.208	236	0.224	108	
	臨時職員	0.040	0.024	60	0.012	50	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,447,326	1,113,512	77	1,949,240	175	2,130,244	109	
	事業費	1,986,453	2,461,483	124	1,751,972	71	3,217,000	184	
	合計	3,433,779	3,574,995	104	3,701,212	104	5,347,244	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,433,779	3,574,995	104	3,701,212	104	5,347,244	144	
合計	3,433,779	3,574,995	104	3,701,212	104	5,347,244	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自宅等での葬儀の割合							
指標説明(式)		祭壇の使用件数÷葬儀件数(火葬件数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	0.2	1.3	650.0	0.6	46.2			
指標名2		霊柩車運転業務委託事業							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	901,800	864,000	95.8	901,800	104.4	915,600	101.5	
	実績	545,400	518,400	95.0	491,400	94.8			

【効率性】

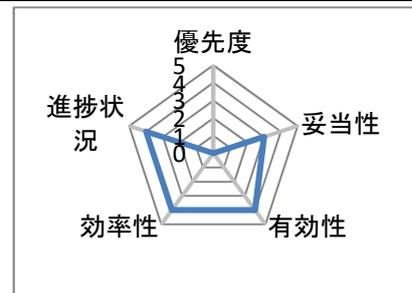
指標名1		霊柩車運転業務1件に係る経費							
指標説明(式)		霊柩業務経費÷件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
qqn	目標	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0	5,400	100.0	
	実績	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	祭壇の運搬・撤収について、適正な対応に努め市民サービスに努力している。	4
	成果目標(改善)達成度	霊柩業務に応えるため、利用者に対して適正に対応できた。	
効率性	コストの節減	祭壇の運搬・撤収について、効率的な運営を図りコスト削減に努めている。	4
	コストの節減	霊柩車の適正管理に努めコスト削減に努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	自宅葬の件数は、減少し続けているものの、葬儀祭壇等の備品については老朽化している。その中で備品の更新等について検討していく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	備品の管理について適正に行い、サービスの見直しに努める。

配点	32.5
総合評価	16.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010200		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	ささゆり苑管理運営事業		予算事業名	ささゆり苑管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ささゆり苑補修事業					
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	葬儀施設ささゆり苑					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ささゆり苑の管理運営の健全化を図り、使用者の利便性を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ささゆり苑の管理運営を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	通夜・葬儀利用件数	件	180	184	150	190	
	火葬炉使用件数	件	421	449	443	450	
	動物炉使用件数	件	179	214	169	200	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.340	0.160	47	0.244	153	0.244	100	
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.008	40	0.008	100	
支出内訳	人件費	3,014,606	1,658,672	55	2,205,788	133	2,275,864	103	
	事業費	37,539,063	40,702,853	108	35,912,269	88	36,357,000	101	
	合計	40,553,669	42,361,525	104	38,118,057	90	38,632,864	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,553,669	42,361,525	104	38,118,057	90	38,632,864	101	
合計	40,553,669	42,361,525	104	38,118,057	90	38,632,864	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑葬儀場利用件数÷火葬件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	42.7	40.9	95.8	33.8	82.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

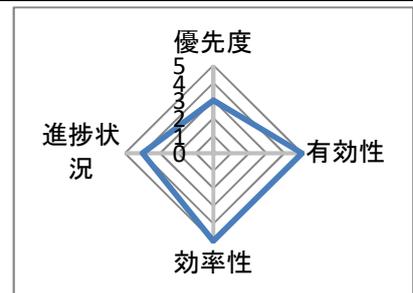
指標名1		事業費に対する使用料収入							
指標説明(式)		ささゆり苑管理運営事業費(人件費除く)÷使用料収入							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	51.5	50.3	97.7	46.8	93.0			
指標名2		ささゆり苑管理委託料							
指標説明(式)		ささゆり苑管理委託料							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17,495,460	17,495,460	100.0	17,638,200	100.8	17,804,000	100.9	
	実績	17,003,628	17,803,368	104.7	17,278,164	97.0			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	施設の維持管理について、延命化に努めるとともに点検を重視し、利便性を高めることにより市民サービスに努めた。	5
効率性	負担割合の適正化	利用者の負担割合について、大規模な改修を除き、5割弱の受益者負担を得ており、概ね適正と考えられる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市内に建設された民間葬儀場で葬儀を行うことが増えつつある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに対し、対応可能か見極める必要がある。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010300		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	ささゆり苑使用許可事業		予算事業名		
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	佐原 正樹	担当者名	桔梗 称花	
取組み事項	斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例、相生市ささゆり苑に関する規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	ささゆり苑使用許可申請者					
	誰(何)を対象として	ささゆり苑使用許可申請者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族の方が、葬儀施設としてスムーズにささゆり苑を利用していただけるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀施設・火葬場の使用許可を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	使用許可事務件数	件	420	444	438	434
	市民のささゆり苑利用件数	件	394	408	392	398

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.356	0.356	100	0.356	100	0.346	97	
	臨時職員			-		-	0.010	-	
支出内訳	人件費	3,030,886	3,118,720	103	3,016,244	97	3,082,814	102	
	事業費			-		-		-	
	合計	3,030,886	3,118,720	103	3,016,244	97	3,082,814	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,030,886	3,118,720	103	3,016,244	97	3,082,814	102	
合計	3,030,886	3,118,720	103	3,016,244	97	3,082,814	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		使用許可書交付平均時間							
指標説明(式)		ささゆり苑使用許可申請から許可書を交付するまでの平均時間							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
分	目標	18	18	100.0	18	100.0	18	100.0	
	実績	18	18	100.0	18	100.0			
指標名2		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑利用件数／市民の死亡件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	95	100.0	96	101.1	95	99.0	
	実績	93	97	104.3	95	97.9			

【効率性】

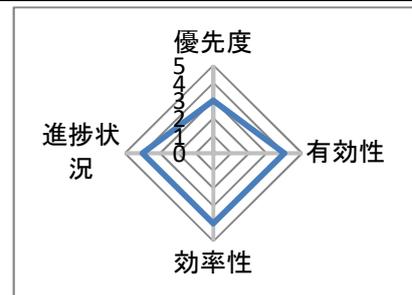
指標名1		1件あたりの許可書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費／許可書交付件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7403	7396	99.9	7125	96.3	7103	99.7	
	実績	7216	7024	97.3	6886	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	条例・規則に基づき、ささゆり苑の使用許可を迅速・正確に行うことができた。	
効率性	コストの節減	前年度と比べて、1件当たりのコストは減少した。	4
	執行体制の効率性	ささゆり苑の使用許可申請は、市民課で受付を行い、閉庁時は宿直者が対応し、許可書を交付した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確・迅速に事務処理を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内研修を充実させ、事務の正確化・迅速化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304020100		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	市営墓地維持管理事業		予算事業名	市営墓地使用料還付事業ほか 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		墓地の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市営墓園条例、施行規則、相生市営墓地条例、施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市営墓園					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の墓地需要に対応し、市営墓地を適正に管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市営墓地の維持管理事業				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	貸付区画数	区画	2,437	2,427	2,429	2,429
	古池墓地	区画	530	526	523	523
	相生墓園	区画	1,088	1,085	1,088	1,088
	東部墓園	区画	819	816	818	818

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.300	0.160	53	0.264	165	0.324	123	
	臨時職員	0.040	0.020	50	0.008	40	0.008	100	
支出内訳	人件費	2,713,206	1,658,672	61	2,354,468	142	2,904,264	123	
	事業費	11,782,818	14,513,253	123	15,164,463	104	19,920,000	131	
	合計	14,496,024	16,171,925	112	17,518,931	108	22,824,264	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,496,024	16,171,925	112	17,518,931	108	22,824,264	130	
合計	14,496,024	16,171,925	112	17,518,931	108	22,824,264	130		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		墓地貸付率							
指標説明(式)		墓地貸付件数÷全体区画数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99	99	100.0	99	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

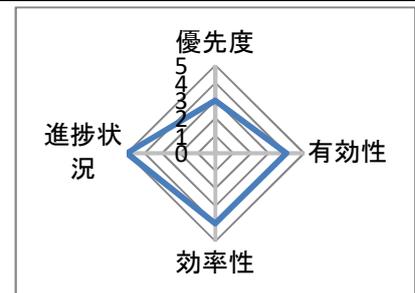
指標名1		1基あたりの維持管理経費							
指標説明(式)		支出額(支出(利子除かない)-還付金)÷貸付区画数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,610	1,600	99.4	1,600	100.0	1,600	100.0	
	実績	1,594	1,641	102.9	1,587	96.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	墓地の新設、返還時に必ず現地確認を行い、設置基準等が守られているか確認し、適正管理に努めた。	4
効率性	手段の最適性	墓地の返還にあたり使用料の8割相当額を還付するため返還しやすくなったことで、墓地確保を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	墓地返還を促すべく、返還時に使用料の一部返還を行っているが、返還額を見直す必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	令和2年度の返還額の変更までの猶予期間において返還処理までの管理を適正に行う。

配点	25
総合評価	19